

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	インターンシップ		
科目基礎情報							
科目番号	0015	科目区分	専門 / 選択				
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	機械・電子システム工学専攻	対象学年	専1				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材							
担当教員	栗本 育三郎						
到達目標							
就業経験をとうして、仕事の進め方、人とのコミュニケーションを身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	就業体験をとおして、自らの能力を高めることができる。	就業体験をとおして、自らの能力を高めることができる。	就業体験をとおして、自らの能力を高めることができない				
評価項目2	仕事の進め方を理解することができる。	仕事の進め方を理解することができる程度である。	仕事の進め方を理解することができない。				
評価項目3	人とのコミュニケーション力を身につけることができる。	人とのコミュニケーション力を身につけることができる程度である。	人とのコミュニケーション力を身につけることができない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	企業、大学等のインターンシップに応募し、体験する。						
授業の進め方・方法	数週間の現場体験をとおして、具体的な課題に取り組むことにより、実地の課題を解決しながら、報告書等まとめる。最後に、プレゼンテーションを実施する。						
注意点	企業や大学の組織の中に入るので、情報漏洩など細心の注意を払うこと。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	企業・大学等での実習	実習を理解し、実習を行い、報告書を作成できる。			
		2週	企業・大学等での実習	実習を理解し、実習を行い、報告書を作成できる。			
		3週	企業・大学等での実習	実習を理解し、実習を行い、報告書を作成できる。			
		4週	企業・大学等での実習	実習を理解し、実習を行い、報告書を作成できる。			
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
専門的能力	専門的能力の実質化	インターンシップ	企業等における技術者の実務を理解できる。	3	前1		
			企業人としての責任ある仕事の進め方を理解できる。	3	前1		
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を総合的に判断することの重要性を理解できる。	3	前1		
			企業における社会的責任を理解できる。	3	前1		
			企業活動が国内外で他社(他者) とどのような関係性を持つかを理解できる。	3	前1		
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。	3	前2		
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。	3	前2		
			コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。	3	前2		
			実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	3	前3,前4		
			社会経験をふまえ、企業においても自分が成長していくことが必要であることを認識できる。	3	前3,前4		
実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。	3	前3,前4					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	0	80	0	0	30	0	110
基礎的能力	0	10	0	0	10	0	20
専門的能力	0	10	0	0	10	0	20
分野横断的能力	0	60	0	0	10	0	70